

# 大麦管理情報 (第6号)

令和6年3月15日

農業技術課広域普及指導センター

## 1 気象経過

- (1) 2月は、平年に比べ、平均気温は5.6℃（平年差+2.2℃）とかなり高く、降水量は225.0mm（平年比131%）と多く、全天日射量は8.1MJ/m<sup>2</sup>/日（同93%）と少なかった。
- (2) 3月上旬は、平年に比べ、平均気温は3.8℃（同-1.7℃）と低く、降水量は80.5mm（同148%）と多く、全天日射量は9.4MJ/m<sup>2</sup>/日（同91%）と少なかった。
- (3) 積雪5cm以上の日数は、3月14日現在で23日であった。

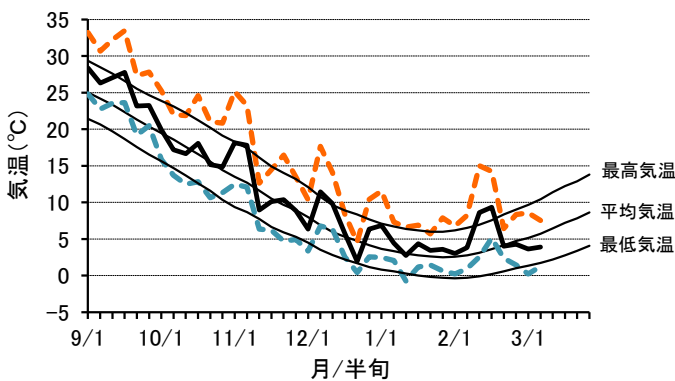


図1 気温の推移 (富山地方気象台)

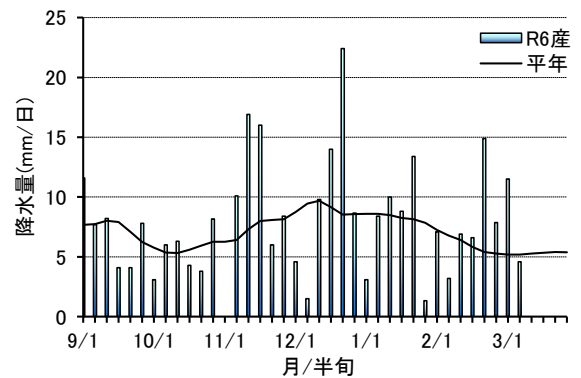


図2 降水量の推移 (富山地方気象台)

## 2 生育概況

平年に比べ、草丈は並（平年比103%）、茎数は少なく（同89%）、葉齢の展開はかなり早く（平年差+1.0葉）、葉色はやや淡く（同-0.8）なっている。また、幼穂長は0.7cmと平年よりやや長くなっている。

表1 大麦生育観測ほ等調査結果（3月15日）

	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (葉)	葉色 (SPAD)	幼穂長 (cm)	茎立期
		(本/株)	(本/m <sup>2</sup> )				
6年産	24.7	4.2	659	11.4	41.3	0.7	2/25
5年産	29.0	4.4	732	11.4	44.3	0.9	3/2
平年	23.9	4.2	739	10.4	42.1	0.6	3/10

注1) 調査ほ場数：10、播種様式はすべてドリル播き

注2) 平年はH26～R5年産の平均

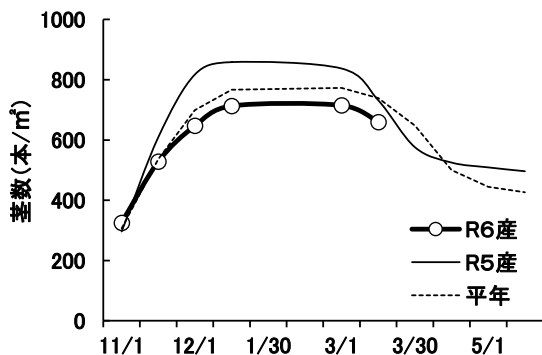


図3 茎数の推移

注) 平年はH26～R5年産の平均

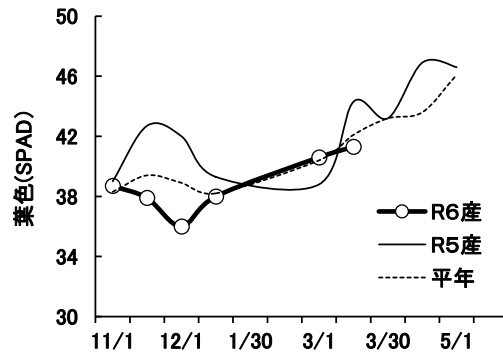


図4 葉色の推移

注) 平年はH26～R5年産の平均

### 3 当面の技術対策

#### (1) 排水対策

水が停滞しているほ場が多くみられます。ほ場の排水状況を点検し、ほ場内に水が停滞しないよう、排水溝の手直しを行うとともに、深く掘り下げた排水口への連結を徹底する。

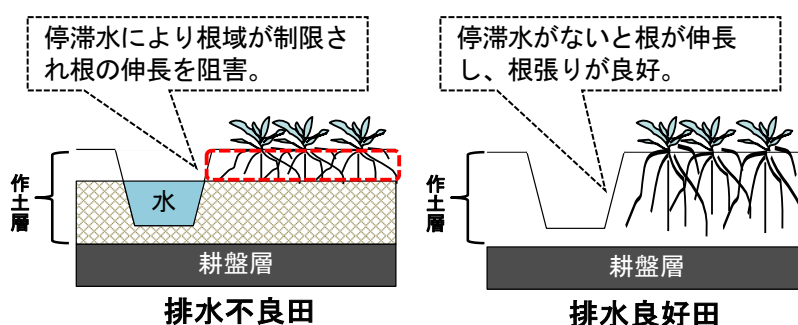


図5 排水の良否と根の伸長のイメージ

#### (2) 止葉展開期の追肥

##### ア 肥効調節型基肥栽培

- 肥料成分の溶出が登熟後半まで続くため追肥はしない。

##### イ 分施肥栽培

- 止葉展開期は、生育の早いほ場では3月末頃と予想され、施用時期が遅れたり、過剰に施用すると硝子率が高くなることから、出穂前11日頃を目安に遅れず（図6・表3）、生育に応じた追肥量を施用する（表2）。

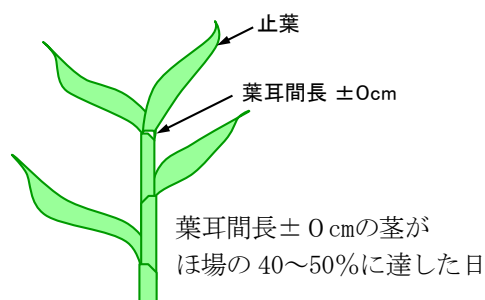


図6 止葉展開期

表2 止葉展開期の生育と追肥量の目安

葉色 葉色板	予想穂数 (㎡当たり)	窒素追肥量 (kg/10a)
5未満	500本未満	2kg
	500本以上	1~2kg
5以上	500本未満	1kg
	500本以上	追肥しない

注) 葉色板の5はSPAD値で「45」

#### (3) 防除作業等に向けた準備

本年は積雪日数が少なく、暖冬傾向だったため、生育が早く、出穂期は平年より早いと見込まれる。今後の気象や生育状況を確認の上、赤かび病の防除作業（穂揃期とその7日後）が遅れないように準備する。

表3 生育ステージと出穂期予想

年次	止葉 展開期	出穂期	積雪日数 (5cm以上日数)	平均気温 (3月:℃)
6年産	(3/29~4/3)	(4/9~14)	23	—
5年産	3/28	4/9	27	10.3
2年産	3/24	4/7	5	8.4
平年	4/5	4/16	36	8.2

注1) 6年産の生育ステージは各ほ場の幼穂長と過去10年平均気温（近隣アメダス値）から予想

注2) 平年はH26~R5年産の平均、平均気温は富山地方気象台（H26~R5年）のもの

注3) R6年産の積雪日数は、3月14日現在の日数